世界 COPD デー 2025

COPD という病気を,ご存知ですか? 日本語では,慢性閉塞性肺疾患,と訳されています.

かつては「肺気腫」や「慢性気管支炎」 などとよばれていました.

喫煙がおもな原因で,息切れや咳・痰が増え,酸素吸入も余儀なくされる病気です.

そのため,別名「夕バコ肺」ともよばれています.



1997 年, WHO や米国国立衛生研究所の協力のもと, COPD の啓発と予防・治療を進める世界的組織, GOLD (COPD のためのグローバル・イニシアチブ) が発足しました.

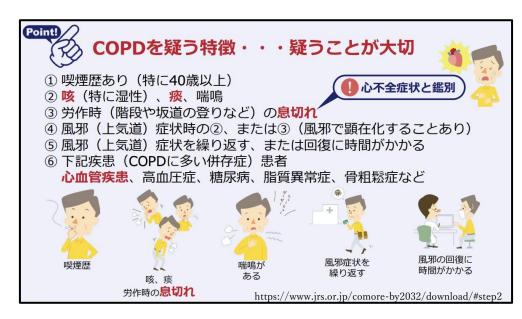
GOLD は 2002 年から毎年,世界 COPD デーを,11 月の第 3 水曜日に開催しています。2025 年の世界 COPD デーは 11 月 19 日(水)です。

今年の世界 COPD デーのテーマは、"Short of Breath, Think COPD (その息切れ, COPD かもしれません)"です。息切れを感じた時には、COPD という病気の可能性もあることを啓発したものです。COPD は世界では死因の第3位~4位と重要な死因の1つで、日本でも潜在的患者数は500万人以上と推計されていますが、まだまだ病名として普及しておらず、正しく診断されていなことが多々あるため治療を受けている患者さんは全体の1割程度となっています。



https://www.gold-jac.jp/about_wcd

このように COPD は非常に頻度の高い疾患の 1 つで,適切に診断と治療を行えば,予防や治療可能な疾患です.しかし,きちんと診断されないと治療を受けることができなかったり,不十分な治療で終わってしまったりする恐れがあります. 息切れは心臓の病気の症状と思われがちですが, COPD の症状と似ているため区別するには適切な検査を受けて正しく診断される必要があります.



COPD を早期に適切に診断することは公衆衛生の観点からも非常に大切です. 早期診断と適切な治療により症状や呼吸機能が改善し,日常生活の質も向上することが期待できます. 息切れや長引く咳,痰などの症状がある,肺炎にかかったことがある,タバコを吸っている(吸っていた),仕事の中で粉塵を吸入している(していた),などのエピソードが場合は COPD の可能性を考える必要があります. COPD は呼吸機能検査(スパイロメトリー)を行うことで正確に診断できます.

まずは COPD という病気について正しく理解し、気になる呼吸の症状があれば、ぜひお近くの病院や診療所を受診してください.